

ポスター発表（一般会員）

26日コアタイム：奇数番号 13:00～14:00, 偶数番号 14:00～15:00

PG201	大型在来種ヤマトメクジの分類学的再検討 ○宇高 寛子 ¹ ・澤島 拓夫 ² （ ¹ 京大・院理, ² 近大・農）
PG202	Haplothrips 属と Liothrips 属群における食性転換と系統進化 ○中尾 史郎 ¹ ・大泉 舞華 ² ・鈴木 花苗 ² ・喜久村 智子 ³ ・土田 聡 ⁴ ・榎本 雅身 ⁵ ・藤本 顕次 ¹ ・兼子 伸吾 ² ・塘 忠顕 ² （ ¹ 京都府立大・応用昆虫学, ² 福島大・共生システム, ³ 沖縄県・北部普及課, ⁴ 農研機構・果樹茶, ⁵ 東京農業大学）
PG203	セイヨウミツバチの翅脈変異における性差 ○見上 孝 ¹ ・芳山 三喜雄 ² ・荻原 麻理 ² ・森本 信生 ² ・木村 澄 ² （ ¹ 生物めぐみ研究所, ² 農研機構 畜産研）
PG204	ナミアゲハ幼虫中令期の幼葉給餌が幼虫の発育に及ぼす影響 ○今井 健介 ¹ ・村上 忠幸 ¹ （ ¹ 京都教育大学）
PG205	寄生蜂の選択的宿主探索行動と産卵学習を規定する化学物質—多数派宿主種への強化学習と炭化水素カクテルへの選好— ○柴尾 晴信 ¹ ・松山 茂 ¹ ・嶋田 正和 ² （ ¹ 筑波大学 生命環境, ² 東京大学 総合文化）
PG206	マメハンミョウの系統解析 —地理的な系統関係について— ○寺尾 美里 ¹ ・長峯 啓佑 ² ・菅野 善明 ² ・新谷 喜紀 ² （ ¹ 南九州大・フィールド, ² 南九州大・環境園芸）
PG207	ロングリードシーケンサーによるオス殺し共生細菌スピロプラズマのゲノム解析 ○安佛 尚志 ^{1,2} ・深津 武馬 ² （ ¹ 産総研・早大 OIL, ² 産総研・生物プロセス）
PG208	昆虫—大腸菌人工共生系の実験進化で見えてきたこと ○古賀 隆一 ¹ ・森山 実 ^{1,2} ・高井 嘉樹 ¹ ・深津 武馬 ¹ （ ¹ 産総研・生物プロセス, ² 産総研・CBBDOIL）
PG209	2種のズメバチの腸内細菌叢に優占する細菌の由来の解析 ○末次 翔太 ¹ ・Masaru K. Nobu ¹ ・宮崎 亮 ^{1,2} （ ¹ 産総研, ² 筑波大）
PG210	タバココナジラミ共生器官で発現する新規抗菌ペプチドと、害虫制御への応用 ○汪 亜運 ¹ ・藤原 亜希子 ^{2,3} ・土田 努 ¹ （ ¹ 富山大学 大学院理工学研究部（理学）, ² 群馬大学 食健康科学教育研究センター, ³ 理化学研究所 環境資源科学研究センター）
PG211	地域集団間におけるキゴキブリ後腸内代謝物の予備的検討 ○徳田 岳 ¹ ・木原 久美子 ² ・福田 真嗣 ³ （ ¹ 琉球大・熱生研, ² 熊本高専・生物化学システム工学, ³ 慶大・先端生命研）
PG212	アブラムシの寄生蜂による寄主操作：その機構と野外での機能 ○仲島 義貴 ¹ （ ¹ 京都大学生態学研究センター）
PG213	テナガシヨウジョウバエにおける闘争のコスト ○工藤 愛弓 ¹ ・松尾 隆嗣 ¹ ・石川 幸男 ¹ （ ¹ 東京大学 応用昆虫学研究室）
PG214	マイマイガ（アジア亜種）の北海道および本州での低密度時の産卵場所について ○澤島 拓夫 ¹ ・井上 真紀 ² （ ¹ 近畿大学農学部, ² 東京農工大学）
PG215	コクヌストモドキの捕食回避戦略と脚の長さの関係 ○松村 健太郎 ¹ ・宮竹 貴久 ¹ （ ¹ 岡山大・院・環境生命科学）
PG216	捕食者の非致死的效果がナミハダニ雌成虫の産卵数と卵の孵化に及ぼす影響 ○吉田 達也 ¹ ・長 泰行 ² （ ¹ 静岡茶研センター, ² 千葉大院応用昆虫）
PG217	奴隷狩りの化学戦術（1）クロヤマアリを匂いで翻弄・襲撃するサムライアリ ○秋野 順治 ¹ ・善木 由美香 ¹ ・山口 進 ² ・青木 由親 ² ・田中 翔太 ³ （ ¹ 京都工芸繊維大学 生物資源フィールド科学研究部門, ² なし, ³ NHK エンタープライズ）
PG218	社会性アブラムシの母性効果を介した階級分化と季節適応-密度・日長・温度変化を合図に増殖・防衛から分散モードにシフトする?!- ○松山 茂 ¹ ・柴尾 晴信 ¹ （ ¹ 筑波大・生命環境）
PG219	クマルハナバチのワーカーによる集団内では産卵個体数は制限されるのか ○横井 智之 ¹ ・田中 千聡 ¹ ・森 一葉 ² ・近藤 紀香 ² ・池本 美都 ¹ ・日下石 碧 ³ ・神戸 裕哉 ⁴ ・光畑 雅宏 ⁴ （ ¹ 筑波大・保全生態, ² 筑波大・生物, ³ 農研機構・農環研, ⁴ アリストライフサイエンス）
PG220	シロアリ唾液腺セルラーゼのラミナリン分解活性 ○渡辺 裕文 ¹ （ ¹ 農研機構生物機能利用研究部門）
PG221	ミャンマーにて発見されたタマバチ科によるゴールと得られた成虫について ○井手 竜也 ¹ ・Khin Mar Myint ² ・Mu Mu Aung ² ・田中 伸幸 ³ （ ¹ 国立科博・動物, ² FRI, Myanmar, ³ 国立科博・植物）
PG222	ツヤアオカメムシの卵寄生蜂ニホンタマゴクロバチの発育特性および産卵能力 ○九鬼 奈紀 ¹ ・和田 芳樹 ² ・網島 彩香 ¹ ・○糸山 享 ^{1,2} （ ¹ 明治大学大学院農学研究科, ² 明治大学農学部）
PG223	島のカブトムシはなぜ小さいか：遺伝的同化による島嶼化の検証 ○小島 渉 ¹ ・星崎 杉彦 ² ・林 仲平 ³ （ ¹ 山口大院・創成科学, ² 東京大院・農学生命科学, ³ 国立台湾師範大・生命科学系）
PG224	亜熱帯性昆虫のフタホシサビカミキリには休眠がない ○新谷 喜紀 ¹ ・長峯 啓佑 ¹ ・日下部 良康 ² ・土田 孝 ³ ・堀内 湧也 ¹ ・根本 優也 ¹ ・佐藤 嘉紀 ¹ （ ¹ 南九州大・環境園芸, ² 横浜市, ³ 浜松医大・病理）
PG225	秋田県湯沢市における地熱由来の温度勾配がカジカガエルやミズスギの生息密度に及ぼす影響 ○高柳 春希 ¹ ・山崎 由貴子 ¹ （ ¹ 湯沢市ジオパーク推進協議会）
PG226	一時放牧が中断された牧場における糞虫相の変化 ○皆木 宏明 ¹ （ ¹ 鳥根県立三瓶自然館）
PG227	カブトムシ幼虫消化管内の陰イオンについて ○和田 典子 ¹ ・岩淵 範之 ¹ ・砂入 道夫 ¹ ・中嶋 睦安 ¹ ・岩田 隆太郎 ¹ ・斎藤 寛 ¹ （ ¹ 日大・生物資源）
PG228	野外から採集したチョウ目昆虫を由来とする新規細胞系の樹立 ○渡邊 和代 ¹ ・秋月 岳 ² ・粥川 琢巳 ¹ （ ¹ 農研機構・生物機能, ² 農研機構・九沖農研）
PG229	アブラムシにおける <i>in vivo</i> electroporation 法を用いた遺伝子機能解析系構築の試み ○和佐野 直也 ¹ ・杉本 貴史 ² ・重信 秀治 ³ ・土田 努 ¹ （ ¹ 富山大・院・理工, ² 農研機構, ³ 基生研）
PG230	数種の水稲用農薬が水田メソコソムの動物群集に与える影響の年間比較 ○橋本 洸哉 ¹ ・笠井 敦 ² ・林 岳彦 ³ ・五箇 公一 ³ ・早坂 大亮 ¹ （ ¹ 近畿大学農学部, ² 静岡大学農学部, ³ 国立環境研究所）

PG231	宮城県のオオタバコガに対する各種薬剤の感受性検定 ○横堀 亜弥 ¹ ・小野 亨 ¹ ・大江 高穂 ¹ (宮城県古川農業試験場)
PG232	テンサイおよび同属野生種におけるモモアカアブラムシ抵抗性遺伝資源の探索 ○高篠 賢二 ¹ ・豊島 真吾 ¹ ・佐野 正和 ¹ ・黒田 洋輔 ¹ (農研機構 北海道農業研究センター)
PG233	ダイズサヤムシガの発育零点と有効積算温度を用いた発生時期の推定 ○大江 高穂 ¹ ・加進 文二 ² ・小野 亨 ¹ ・横堀 亜弥 ¹ (宮城古川農試, ² 宮城防除所)
PG234	サーチライトトラップと昆虫レーダを用いたハスモンヨトウの分散侵入モニタリング ○大塚 彰 ¹ ・徳田 誠 ² ・松村 正哉 ³ (革新工学セ, ² 佐賀大, ³ 農研機構)
PG235	ダイズのツメクサガに対する合成性フェロモンの誘引性能の評価 ○小野 亨 ¹ ・安田 哲也 ² ・横堀 亜弥 ¹ ・大江 高穂 ¹ (宮城古川農試, ² 農研機構中央農研)
PG236	A simple method for identification of TSWV and thrips species in individual thrips ○ Choi Gugseoun ¹ ・Yoon Jungbeom ¹ ・Yoon Juyeon ¹ ・Kwon Sunjung ¹ ・Cho Insook ¹ ・Yang Changyeol ¹ ・Seo Mihye ¹ ・Lee Seongchan ¹ (Korea, RDA, NIHHS)
PG237	オオホシカメムシに流行病を起こすメタリジウム菌 ○西 大海 ¹ (九大院農・天敵微生物)
PG238	<i>Beauveria bassiana</i> に感染したトビイロウンカの免疫機構の解析 ○村上 理都子 ¹ ・勾坂 晶 ¹ ・横井 翔 ¹ ・上樂 明也 ¹ ・畠山 吉則 ² ・渡部 賢司 ¹ ・田中 博光 ¹ (農研機構, ² 日大 生物資源)
PG239	チュウゴクオナゴコバチ：生活史およびクリタマバチの長期個体数変動 ○志賀 正和 ¹ (土浦市)
PG240	スクミリンゴガイやボウフラに食毒性を示す微生物由来タンパク質毒素 仲川 直 ¹ ・石丸 満大 ¹ ・岡嶋 泰生 ¹ ・西角 咲紀 ¹ ・東 慶直 ¹ ・早川 徹 ² ・武部 聡 ¹ (近畿大学生物理工学部, ² 岡山大院ヘルスシステム統合科学)
PG241	不連続土壌処理によるイエシロアリコロニーの根絶 ○板倉 修司 ¹ ・梅澤 究 ¹ (近畿大・農)
PG242	生物農薬バイオセーフによるクビアカツヤカミキリ幼虫の防除法の検討 ○加賀谷 悦子 ¹ ・田辺 博司 ² (森林研究・整備機構森林総合研究所, ² 株) エス・ディー・エス バイオテック)
PG243	よく食べることは死につながる：attractive toxic sugar bait (ATSB) 法のコクヌストモドキ成虫への適用 ○菊田 真吾 ¹ (茨城大・農)
PG244	ソメイヨシノ細枝に接種したクビアカツヤカミキリ孵化幼虫の発育 ○北島 博 ¹ (森林総合研究所)
PG245	特定外来生物クビアカツヤカミキリの飛翔能力と気温および体温との関係 ○桐山 哲 ¹ ・伊東 桂一 ¹ ・立石 和輝 ¹ ・深谷 緑 ¹ ・岩田 隆太郎 ¹ (日大・生物資源)
PG246	サトウキビ白葉病の媒介虫に対する化学的防除法の開発 ○小堀 陽一 ¹ ・Yupa Hanboonsong ² (国際農研, ² コンケン大)
PG247	LED光によるオニグモのERG信号強度の評価 ○徐 微微 ¹ ・川上 雄嗣 ¹ ・鎌田 隼 ² ・西香 貴典 ¹ ・藤原 健志 ¹ ・鄭 涛 ¹ ・小西 智也 ¹ ・釜野 勝 ¹ (阿南工業高等専門学校, ² 徳島大学大学院)
PG248	侵入害虫クビアカツヤカミキリの合成フェロモン等を用いた誘引物質の検討 ○所 雅彦 ¹ ・滝 久智 ¹ ・高務 淳 ¹ ・松本 剛史 ¹ ・向井 裕美 ¹ ・浦野 忠久 ¹ ・高梨 琢磨 ¹ ・加賀谷 悦子 ¹ ・桐山 哲 ² ・深谷 緑 ² ・岩田 隆太郎 ² (森林総研・森林昆虫, ² 日大・生物資源)
PG249	酢酸処理による害虫忌避作用のメカニズム ○原田 恵理 ¹ ・小堀 富広 ¹ ・松原 晶 ¹ ・肥塚 崇男 ² ・松井 健二 ² (アース製薬(株), ² 山口大院創成科学(農))
PG250	韓国におけるキク登録殺虫剤のミカンキイロアザミウマ殺虫効果調査 ○尹 丁梵 ¹ ・李 成璨 ¹ ・梁 昌烈 ¹ ・李 善英 ¹ ・徐 美恵 ¹ (韓国 国立園芸特作科学院)
PG251	栃木県におけるイチゴのアブラムシ類に対する次世代型バンカー法を用いた現地実証試験について ○八板 理 ¹ ・大野 茉莉 ¹ ・春山 直人 ¹ ・小林 誠 ² ・福田 充 ¹ ・長坂 幸吉 ³ ・伊藤 健司 ⁴ (栃木農試, ² 那須農試, ³ 農研機構中央農研, ⁴ (株)アグリ総研)
PG252	新潟県の促成イチゴ栽培における天敵カブリダニ類の導入時期の検討 ○横山 泰之 ¹ ・堀川 拓未 ¹ ・相川 敏之 ¹ ・遠藤 昌伸 ¹ ・濱登 尚徳 ¹ (新潟園芸研)
PG253	リピングマルチを活用した「土着」微生物の有用管理技術 大坂 正明 ¹ ・中村 茂雄 ² ・板橋 建 ¹ ・千葉 直樹 ¹ ・関根 崇行 ¹ (宮城農園研, ² 宮城大・食産業)
PG254	栃木県のもも園地におけるクビアカツヤカミキリの発生状況と樹幹内の幼虫寄生状況について ○春山 直人 ¹ ・八板 理 ¹ ・福田 充 ¹ ・山崎 一義 ² (栃木農試, ² 安足農振)
PG255	水稲栽植密度が土着天敵に及ぼす影響 ○村田 浩平 ¹ ・井手 脩人 ¹ (東海大・農)
PG256	コバネイナゴにおけるバッタヤドリニクバエ寄生の新記録および今後の展望 ○渡邊 紗織 ^{1,2} ・長谷川 英祐 ¹ (北大農・動物生態, ² 京大・フィールド研)
PG257	捕虫器の設置壁面色と筐体色がイエバエの捕獲数に及ぼす影響 ○木村 悟朗 ¹ ・富岡 康浩 ¹ ・谷川 力 ¹ (イカリ消毒(株))
PG258	赤トンボ類自動撮影装置の開発と福島県の営農再開水田における応用 ○吉岡 明良 ¹ ・松本 伸浩 ² ・三田村 敏正 ² ・遠藤 わか菜 ² ・清水 明 ¹ ・小熊 宏之 ¹ ・深澤 圭太 ¹ ・三島 啓雄 ³ ・熊田 那央 ¹ ・神宮 翔真 ⁴ ・田淵 研 ⁵ (国環研, ² 福島県農総セ, ³ 立正大, ⁴ 筑波大, ⁵ 農研機構東北農研)

PG259	<p>日本産果樹生産に貢献する野生訪花昆虫～産地・年度間変動と安定性について～</p> <p>○中村 祥子¹・滝 久智¹・香川 清彦²・園田 昌司²・戸田 世嗣³・神山 光子³・池田 隆政⁴・中田 健⁴・古井 佑樹⁴・上地 奈美⁵・中野 亮⁵・三代 浩二⁵・土田 聡⁵・横井 智之⁶・前田 太郎⁷・小沼 明弘⁸・小松 美千代⁹・舟山 健⁹・岸本 英成⁵・降幡 駿介⁵・柳沼 勝彦⁵・中村 傑¹⁰・吉田 昂樹¹⁰・山本 隼祐¹¹・澤村 信生¹¹・新井 朋徳⁵・井上 広光⁵・外山 晶敏⁵ (¹森林総研, ²宇都宮大, ³熊本農研セ・果樹研, ⁴鳥取園試, ⁵農研機構・果樹茶, ⁶筑波大・保全生態, ⁷農研機構・生物機能, ⁸農研機構・農環研, ⁹秋田果樹試, ¹⁰福島農総セ・果樹研, ¹¹鳥根農技セ)</p>
PG260	<p>都市近郊エダマメ栽培体系における有害線虫密度を考慮した収量規定要因の推定</p> <p>○伊藤 大輔¹・峯岸 芳雄²・寺下 柚子²・吉岡 遼²・福田 寛³・武田 藍³・太田 和宏⁴・佐野 修司⁵・アクリッシュ (金剛) 穂波⁵・井村 岳男⁶・白井 さよ⁷・豊田 剛己⁷ (¹環境管理, ²春日部農振セ, ³千葉農林総研セ, ⁴神奈川農技セ, ⁵大阪環農水研, ⁶奈良農研セ, ⁷農工大)</p>
PG261	<p>根箱を用いたテンサイシストセンチュウ宿主植物範囲の解明</p> <p>○岡田 浩明¹・植原 健人¹・立石 靖¹・北林 聡² (¹中央農業研究センター, ²長野県野菜花き試験場)</p>
PG262	<p>オオヒラタザトウムシ2亜種の地理的分化に関する研究</p> <p>○加藤 貴範¹・土田 浩治²・岡本 朋子² (¹岐阜大・連合農学, ²岐阜大・応用生物)</p>
PG263	<p>捕食性線虫、<i>Seinura caverna</i> のマツノザイセンチュウ摂食</p> <p>○神崎 菜摘¹・浴野 泰甫² (¹森林総研・関西, ²鹿大・連合農学)</p>
PG264	<p>合成ふ化促進物質に対するジャガイモシストセンチュウ卵の <i>NEP-1</i> 遺伝子の応答</p> <p>○坂田 至¹・串田 篤彦¹・奈良部 孝¹・谷野 圭持² (¹農研機構・北農研, ²北海道大・理)</p>
PG265	<p>潜葉性幼虫によるハルニレ若葉の褐変被害 —加害種の特定と生態及び形態—</p> <p>○磯野 昌弘¹ (¹森林総研・東北)</p>
PG266	<p>ディープラーニングによる写真のハナバチ類の種同定の自動化</p> <p>○大野 ゆかり¹・Thomas Westfchtel²・横山 潤³・中静 透⁴・河田 雅圭¹・大野 和則⁵・岡谷 貴之² (¹東北大・生命科学, ²東北大・情報科学, ³山形大・理学, ⁴地球研, ⁵東北大・NICHe)</p>